



第 3 8 1 号

昭和44年6月1日創刊  
平成18年4月8日発行  
発行所及責任者  
川崎市多摩区東生田4-13-17  
電話番号 044-976-0708  
郵便番号 214-0031  
宗教法人出雲心友教会  
編集兼発行人 佐藤武彦  
毎月8日1回発行  
1部150円 (送料共)  
年間購読料1,800円

# 御神縁

昔の人は「袖すり合うも  
他生の縁」と言いましたが  
縁を考えると薄くなつ

てしまった今の世は、それ  
だけ人を孤独にし、社会を  
無機的にしてしまっている



関西支部30周年、年祭より

と言えるでしょう。

私たち人間の生は「縁」

によって成り立っています。

そのこの意味は大変に

深いものですが、現実の人

と人とのつながりだけを取

り上げてみても、それは縁

と呼ぶしかない出会いから

生まれています。

ご自分の伴侶を始め、友

人、知人との出会いを振り

返ってみれば、必ず「な

ぜ？」という疑問が出てく

ることでしょう。

仮に、意志的に選んだと

言ったところで、ではどう

してその人が自分の前に現

れたかという「なぜ」は消

えないはずです。

それを単なる偶然と思

か、それとも与えられた必

然と思うかによって生き方

は大きく変わってきます。

与えられた必然と考えれ

ば、縁として大切にしよう

という方向に向かいますが

単なる偶然と考えて終わら

せれば人間関係は稀薄にな  
ります。

大国主大神は、古くから

「縁結びの神」としてのお

徳が伝えられています。

その縁は男女の縁だけとい

うような狭いものでは決し

てありません。

人と人との縁の全てを、

「お手振り」されているの

が大国主大神なのです。

この大国主大神を世の

人々は、親しみを込めて、

大国様と申し上げているの

です。

ですから、大国様をその

家の御守護神としてお祀り

するようになってから「び

つくりするほど、良い人や

良い機会にめぐりあうよう

になった。」といったお話

はそれこそ枚挙にいとまが

ない程あります。

それもそのはず、大国主

大神は神々の司であらせら

れるのです。

その証拠には、毎年旧暦

の十月十日（今年は十一月

三十日）に出雲の稲佐の浜

に於て、神迎祭という御祭

が荘厳に行われ、その後出

雲大社で神在祭が執り行わ

れるのですが、この御祭は、

全国から八百萬の神々が出

雲にお集まりになり、大国

主大神を中心に、人間の来

年（節分過ぎ）の寿命や出

会い、運などと合わせて、

人と人の縁もご相談される

のです。

「縁結び」という御神徳

は、良い縁を結び、悪い縁

を遠ざけるといふ、全くと

つて、すごいものです。

こうして見ますと、世間

一般でいう単純な縁結びの

神（男女の縁結びの神）と

いう認識は、あくまでも、

一般論であり、大国主大神

の御神徳のひとつである、

「縁結び」とは、全く異質

のものであるといふことが

言えます。

しかしながら、縁結びの

神と言えば、昔から大国主

大神のことを指すというこ

とにかわりはないので、御

神徳を正しく伝えることが

今後の課題とも言えます。

さて、この「縁」という

言葉ですが、一般に使われ

る意味も多岐にわたり、へ

りやふちなどから始まり、

縁側、ゆかり、ちなみ、て

づる、たより、関係、つづ

きあい、縁故、血縁など

様々あり、仏教用語として

も「原因をたすけて結果を

生じさせる作用」という意

味があります。（広辞苑より）

我々も含め、信者の皆様

全員に言えることは、今ま

での人生に於て、色々な果

たしがあり、それを乗り越

えてこれまでこられたと言

うことです。

しかし、その間、果たし

をさせて頂く過程には、

様々な人々との縁があり、

時としてその方々の協力に

よつて、窮地を乗り越えた

こともあつたと思ひます。

もつと言えば、色々な信

仰をされて、やつと神々の

司であられる大国主大神と

御神縁を結ばれた方々も多

いのではないでしょう。

この世は、『前世の果た

し』をさせて頂く所です。

その為に人々は、大神様

によって生かされているの

です。

同じ「果たし」をさせて

頂くのなら楽しくありたい

ものです。

感謝と反省の日々の中、

幸せな方々との縁を結んで

頂き、共に立ち栄えたいも

のです。

### 目に見えないもの

人間である以上、誰もが望む事は、毎日平穩無事で過ごし、「今日も幸せで良かった」と心から言える事だと思えます。

大國主大神様を家の御守護神としてお祀りなされ、信仰に励まれている皆様はそうなる機会に恵まれた幸せな方々なのです。

しかし、いくら大國主大神様に手を合わせていても感謝する心がなければ、幸せにはなれません。

突発的の事故や事件、ポツクリ病などで亡くなられる方々の事を思うと、人間の生死は人の力ではどうする事も出来ない、大神様のおはからいに他ならないのです。

ですから「今日もこうして生かされている事」に感謝する事が、第一歩です。

その上、健康で働く事が出来て、更に良い運や良い縁に恵まれていれば、何も言う事はないでしょう。

そういう意味でも、朝のおまいりは、今自分に与えられている全ての事に感謝

するおまいりでなければなりません。

一方、生命や健康、運や縁など目に見えないものごとくに感謝出来ない人たちは気の毒な方々です。

こういう方々は、不幸の塊を背負っている様なものなのですが、こういう方々に限ってその事には全く気がつかないのです。

こういう人たちは、目に見える物だけに幸せがあると錯覚している不幸な人々だと言えます。

人間は、物を追いかけて出すと、欲望に際限がない為歯止めがきかなくなってしまう。

車にしても軽乗用車より外車、家にしても狭い物より広い物、指輪にしても石の小さい物より大きい物と言う様になってしまうのです。

しかし、それを得る為には豊富な資金が必要なので何でも思い通りになるとは限りません。

そうなった時、物事に感謝する心のない人は、今ある物には感謝出来ず、不足を言い不満のかたまりとな

ってしまいます。

そして、他人と比較しては、みじめな、不幸な気持ちで、毎日を生かす事になってしまふのです。

こういう人たちが不幸なのは、物事に感謝する心を全く持っていないという点にあります。

もうひとつは、目に見える物こそが、人の幸、不幸を決める全ての要因と思っている事です。

こういう人たちは、自分の心に不幸の原因がある事には全く気づいていないのです。

目に見える物だけを追いかける欲望からは、決して幸せな心は得られな

いのは明白なのです。冷静になって、欲望を抑える事を学ばなければならぬと思えます。

そして、目に見えない要因、つまり、命、運、縁を始めとする全てについて、感謝の心を持って見直す事です。

そういう心になった時、初めて大神様が、幸せになれる様に、お計り下さるのだと思えます。

そうすれば、感謝のおま

いりが自然に出来る様になり、全ての人や物にも感謝の気持ちで接する事が出来るのだと思えます。

日本は、不景気だとは言っても、ほとんどの人々は食べる事に困る事はないと思えます。

また、普通に生活していれば、命を脅かされる事はないと思えます。

戦争をしている国の人々は命を脅かされている上に、食べる物もないのです。

それでも、子供達には、「学校の先生になりたい」とか「お医者さんになりたい」だとか言う夢があるのです。そして、感謝の心があるのです。

大切な事は、今ある自分を幸せだと受け止める心で日々感謝のおまいりをする事です。

決して、現状に満足しろと言う事ではありません。

しかし、何事にも感謝出来る人間になれば、大神様は、幸せになれる様に、お導き下さるのです。それは、自分の心の持ち方次第なのです。

大自然の恵みを活かして住まう 省エネ 活性化住宅  
 太陽で24時間床暖房 **ハイブリッドソーラーハウス**

奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間（全館床暖房）エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。  
 下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。

出雲心友会 横浜支部会員  
**My Hands 有限会社白幡工務店**

〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10  
 TEL045-401-0549 FAX045-401-2085  
 E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp  
 代表取締役 金子文雄

**Vixen JAPAN** 楽しい出逢いが待っています。



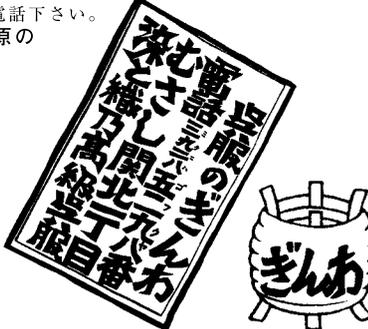
双眼鏡で愛らしい小鳥たちを遠くへ。  
 美しい星空の観察は天体望遠鏡で。  
 顕微鏡の精巧な不思議な3Dの世界。

TELESCOPES·BINOCULARS·MICROSCOPES·MAGNIFIERS·COMPASSES  
 株式会社 **ビクセン** 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3  
 TEL : (042) 944-4000 (代)  
 FAX : (042) 944-4045

双眼鏡・天体望遠鏡・顕微鏡はビクセン  
<http://www.vixen.co.jp>

和服・お手入れ、きものことなら何でもお電話下さい。  
 都内・横浜・熱海・大宮・幕張・湯河原の展示会にご案内いたします

**呉服のぎんわ**



練馬区関町北1-15-11  
**TEL 03-3928-5298**  
 八雲支部 渡邊

江戸前上種 本まぐろ

**銀寿司**

営業時間 昼 12:00~1:30 火曜休み  
 夜 5:00~9:00

東京都墨田区京島3-18-19  
**TEL 03 (3611) 8322**  
 永代支部 長谷川

下町にお出かけの際は、是非お立ち寄り下さい。

正一位 中子稲荷

**いなり茶屋**

～法事会席3,500円より承っております～  
 水曜日定休  
 営業時間 午前11時～午後3時  
 午後6時～午後10時

群馬県北群馬郡伊香保町509-3  
 天田 信良・典子  
**TEL.0279-72-4465**

### 桜と日本

日本の花と言えば、第一に桜の花があげられます。日本人の心を表現するのに、桜はたびたび比喩的に用いられ、桜の花は大和魂の代名詞でもありました。

さて、「さくら文化」の系譜は昔から脈々と続いていますが、農耕民族である日本人にとって『花』というのは、元々『稲の花』の事で、それはそのまま神に捧げる花であり、神の依り代でした。ですから『花祭り』とは、稲の花の成熟を神に祈願して、豊作を願

う行事で、現代人が花を愛する感覚とは違っていたと言えます。

すでに、縄文から弥生にかけての日本列島には、桜がたくさん生息し、当初は実用性の上からも、それほど重要な樹木ではなかった様です。ただ桜の開花の時期が、新生を予感させる春であり、その花の美しさと共に心に刻みつけられた事が、その後のさくら文化の隆盛の遠因になったと考えられます。

桜がいつ頃から日本人にとって特別な花になったのかは、はっきりしませんが

「さくら」の「さ」は、稲田の神霊を指し、「くら」は、神の座を意味しますから、稲作が始まり、共同祈願を行う様になった頃から『神霊の依る花』として尊ばれたのではないかと、想像することができません。

今日、神社仏閣の様な霊地には、桜の木が多く植えられているのを見る事ができます。

また、桜は王朝人の和歌や日記にも登場して、文学的モチーフとしても、花の仲間としては、一番多く使われました。

高めたのが江戸時代の国学者、本居宣長でした。

彼は自らを吉野の水分神社の申し子で、桜の化身と信じて、とても桜を愛好したそうです。

『しきしまの大和心を人とはば朝日に匂ふ山桜花』という彼の歌は、あまりにも有名です。

その後桜は、武士道の花や軍国の花となって、いつそう日本人の心に刻みこまれましたが、神宿る花として、かつての素朴な信仰を残した行事も、今なお各地で行われています。

### 御神酒のお話

酒は、神代の昔から存在しました。

そして「下戸の建てる倉はなく、御神酒あがらぬ神はなし」とも言います。

日本の神様だけでなく、ギリシャ神話のディオニソス(俗にバッカス)も酒の神様ですし、インド神話の神様も、ソーマ酒という霊酒をきこしめされます。日本で、御神前に御神酒

を供えるという行為は、まず『日本書紀』(巻五)や『万葉集』に見えます。

しかし、古代においての酒は、濁酒、つまりどぶろくでした。

また、大嘗祭や新嘗祭の時には、黒酒・白酒が供えられました。黒酒・白酒は神田でつくった米で醸した酒です。クサギ(常山)という草の焼き灰を入れて黒く色づけしたのが黒酒、これを入れないのが白酒なの

です。

しかし、今では御神酒には清酒が使われています。

仏教においては「不飲酒戒」があつて、出家した僧はもちろん、在家信者の飲酒も禁止されています。

しかしこれは、仏教がインドという暑い国の宗教なので酒の必要性はあまりないからとも言えます。

それで、日本の仏教において是不飲酒戒はありながらも、飲酒が黙認されてい

る様です。

お坊さんの世界においては「般若湯」という隠語もあります。般若という語は、本来「智慧」の意味です。

酒は本来、智慧を失わせるもの(だから、釈迦は飲酒を戒めたのです)なのにその酒を「智慧の湯」と呼ぶのですから皮肉なものです。

この点でも仏教は日本化しているといえます。



ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。

# 油屋

新宿区神楽坂1-10  
☎03(3260)2715

日立チェーンストール  
ソーニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

## 榊原電機株式会社

中野区沼袋1-2-12  
☎03-3387-6351(代)



油のことなら何でもご相談下さい。  
食用油脂・食品・調味料  
石油製品・化学製品

### カナダ株式会社

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号  
〒111 TEL.03-3861-1311(代)  
営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡  
http://www.abura-ya.com/  
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

### 人間ドック

疾病の早期発見・早期治療から予防  
そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

◆資料無料送呈◆

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅史  
東京都文京区西片1-15-10  
TEL.03-3816-5840

ボリューム満点 “おいしいラーメンの店”

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

## らーめんはうす

川崎市多摩区登戸3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ



## 宮川食鳥鶏卵株式会社

東京都中央区築地1-4-7

電話 03(3541)0164・0177・0370  
FAX 03(3541)0164

### お徳積み

大神様の為、人の為、自分の為、人として為せる最高の行ないは、積徳(徳を積むこと)です。

人に喜ばれる行ないには物徳(物で果たす徳)、口徳(言葉によって果たす徳)、身徳(働きによって果たす徳)などありますが、中でも笑顔で人に接するこ

とは一番簡単で誰にでも積める徳です。これらの積徳に励むことは

は自分の心を浄化してゆくことです。

心が浄化して、心の罪や穢れ(けがれ)を取り除かれると諸々の「苦」がなくなります。

更に徳の積み重ねは、人の宿命をも善化してゆくこととなります。

個人個人に与えられた宿命は、なかなか変えることが出来ませんが、人に喜ばれ、神にも喜ばれる徳の積み重ねは、果たさなければならぬ苦しき、悲しきを良い方向へ変えて頂けるの

です。

こうして積み重ねた徳は「お徳が高い」と言われたりして、我々の永遠の宝となります。

お金や物をたくわえても幽世(かくりよ)まで死んで持っては行けません。

しかし、徳は幽世でも通用するのです。お金や物は、いつなくなるかわかりませんが、徳は子孫三代まで続くのです。永遠の宝は、『徳を積むこと』なのです。

### だるま市に寄せて

歳末から翌年の四〜五月ごろまで、杜寺の縁日でだるまを売るのが、だるま市と呼ばれています。

だるまと言っても、姫だるま、三角だるま等、色々ありますが、願かけ用と言えば、張り子の目なしだるまの事です。

だるまのモデルとなったのは、もちろん達磨大師(だるま)です。この中国禅宗の始祖である達磨大師の七転び八起きの精神にあやかっています。

だるまは、大師の座禅の姿を模したもので、赤く彩色されているのは、赤がめでたい色で、病気を治す色とされているからです。

起き上がり小法師になつているのも七転び八起きの精神にひっかけ、すぐに立ち直れるという縁起をかついだものなのです。

面壁九年(めんぺき)の厳しい修行の後に悟りを開いた大師にあやかつて、自分も頑張ろうと目を入れる訳ですから、宿命的に失敗を重ねる我々人間にとって、これは願ってもない縁起物です。

### 心友会ホームページのお知らせ

メールをお持ちの方は、アドレスの登録を行いたいと思いますので、下記の心友会のメールアドレスに件名「登録」にて住所・氏名・電話番号を送信お願い申し上げます。心友会のURLは <http://www.shinyukai.or.jp> になります。また、ホームページ等へのご意見感想もお送り下さい。

### 原稿募集中

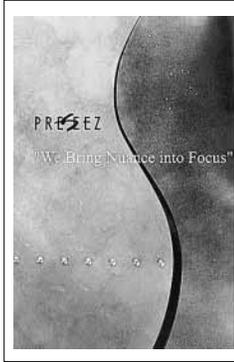
編集部では、皆様からの原稿をお待ちしています。行事に参列された感想文、不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、その他、御意見・御感想など、どんな小さな事でも結構です。また、詩や短歌、俳句などもお送り下さい。皆様からのお便りを心よりお待ちしております。

### 心友会コーナー

- 心友会だより布教キャンペーン  
心友会だよりを年間千八百円(二部につき)でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。
- 会長先生のご著書「日本心友会だより」(再版)、「霊のめぐみ」(神のこころ・霊のめぐみ) 全て、末広会にて販売しております。
- 不明な点等ございましたら  
〇四四(九七六)〇七〇八 佐藤まで

### 末広会コーナー

- 各種贈答品承ります。  
多少に拘らず、お気軽にご用命下さい。
  - 冠婚葬祭用カタログございます。  
自由に選べるカタログカテゴリー。予算別には、贈答品文庫カタログ。是非ご利用下さいませ。
  - 損保ジャパン代理店  
自動車保険、火災保険、積立保険など、お客様のニーズに合った各種保険がございます。
  - 新製品続々登場  
堂ヶ島の塩石鹸 六〇〇円  
島キビ粉(一般) 六〇〇円  
ドイツ生まれの激落ちくん等  
※詳しくは、お店にて。
  - 他にも多数商品ございます
- お問い合わせ、資料請求は、  
〇四四(九七六)二八八二まで



発想をアクティブに。伝える情報を伝える情報に。マルチカルチュラル時代のコミュニケーションサービスを展開しています。

株式会社 プレシーズ  
〒108-0072 東京都港区白金 1-25-20  
Tel : 03-3444-7111(代) Fax : 03-3442-5775  
E-mail : mails@preseez.co.jp  
Homepage : <http://www.preseez.com>

### 誹<sup>そ</sup>しるなかれ

会長先生がおっしゃる大  
国主大神の三つの教えであ  
る『愚痴るなかれ、争うな  
かれ、誹<sup>そ</sup>しるなかれ』の中  
から、今月は誹<sup>そ</sup>しるなかれ  
についてお話をします。

誹<sup>そ</sup>しるということは、他  
の人の事を悪く言ったり、  
けなしたりする事です。

つまり、誹<sup>そ</sup>しるというこ  
とは、人を裁く気から出て  
いるのです。人を誹<sup>そ</sup>しって  
いる時の気(魂)は、決して  
平らかな気(和魂)では  
ありません。波が立ち、荒  
れている『気』は、怒気が  
含まれている可能性が高い  
『気』なのです。

月が静かなる湖水に姿を  
写す時は、そのままの形を  
写す(保つ)ことができま  
すが、波があれている海面  
に姿を写す時は、形がいび  
つに写ったり、ゆがんで写  
ったりします。

人の気も同じように、い  
つも平らかな気であること  
を努力していれば、相手の  
心をありのままの形で心  
中に写すことができるわけ  
です。そうすれば、横しま

な人から出る霊波(相手の  
思っている気)を感じるこ  
ともできて、だまされるこ  
ともなく、誹<sup>そ</sup>しることもな  
いのです。

また、人の心も見抜ける  
ようになり、大変自分のた  
めになることです。つまり  
平らかな『気』を持つこと  
によって『心眼』で人を見  
ることができるようになる  
のです。

それで、大国主大神は、  
『誹<sup>そ</sup>しるなかれ』とおしゃ  
ったのだと思います。

今日は、わつかけていたと  
しても、明日にまた、御教  
えにはずれる言動をしてし  
まうのが人間です。

一つ一つ少なくしてゆく  
ことによって、仏教でいう  
ところの『業』、つまり神  
道の『想念』(悪い事、悲  
しい事を思う念波)が消さ  
れてゆくのです。

ですから会長先生は、死  
ぬまでがずっと『行』だと  
おっしゃっております。

皆様も、少しでも努力し  
て、大国主大神の御教えを  
守り、神様に近づく日常生  
活をしていただきたいと思  
います。

### 社務所からのお願い

いよいよ春季例大祭の季  
節となりました。

皆様方から毎年頂いてお  
ります年会費及び管理料が  
未納の方がおりましたら、  
お参りの際、社務所までお  
申し出下さい。

また、郵便局への振込も  
ご利用下さいませ。

○年会費 (月間五百円)

年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料

年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料

年間五千円

口座番号は、左記の通り

○二九〇—七—三三八二

\*お手数ですが、通信欄に  
年会費・管理料の区別を  
名記して下さい。

### 大祭の奉賛金と

#### 御初穂料について

いよいよ、春季例大祭が  
近づいてまいりました。

大祭の度毎に、信者の皆  
様方にご協力して頂いてお  
りますものに奉賛金があり  
ます。この奉賛金は、大祭  
を執り行なう為に必要な諸

### 八の日の月並祭に お詣り致しますよう

月並祭は、大神様の日頃  
の御加護に感謝する御祭で  
す。自分の損得を抜きにし  
て本当に感謝のお詣りをさ  
せて頂く良い機会です。

『家で自分の大国様にお祈  
りしているからいいです』  
とか言い訳しないで、出来  
るだけ本殿にお詣り下さい。

八の日は月に三回ありま  
す。せめて一日ぐらいいは、  
自分自身で日を決めてお詣  
り下さいませ。

特に総代の方、支部長の  
方、初心に返って、あの頃  
の生き生きとした、燃える  
様な気持を思い出して、お  
詣り下さい。

また、その後、勉強会を  
させて頂き、大神様につい  
てのお話を会長先生がして  
下さいます。その他、皆様  
方の体験談や質問などなご  
やかな雰囲気の中で、ディ  
スカッション形式で座談会  
をしておりますので、是非  
ご参加下さい。

皆様の真心のお詣りを、  
大神様は大手を広げてお待  
ち下さっていますので...

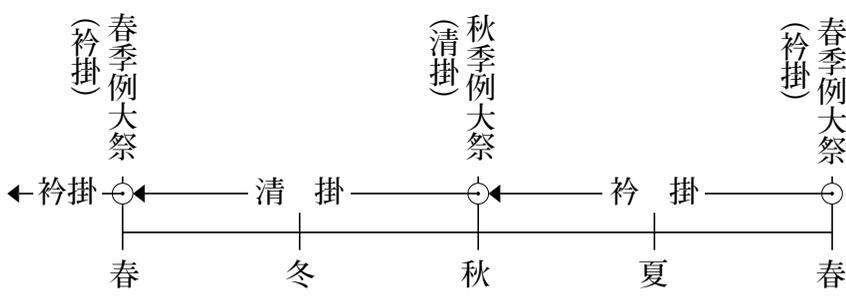
### 清掛と衾掛について

清掛と衾掛の着用の時期  
について、まだはつきりお  
わかりにならない方がいら  
っしゃいますので、確認さ  
せて頂きます。

詳細は、左記の通りです。

☆春季例大祭当日より秋季  
例大祭の前日まで衾掛の  
着用(夏季)

☆秋季例大祭当日より来年  
の春季例大祭の前日まで  
清掛の着用(冬季)



四月～六月の行事予定

|         |          |    |
|---------|----------|----|
| 四月(火)   | みたまま祭    | 正午 |
| 五日(水)   | 年祭       | 正午 |
| 九日(日)   | 総代会      | 四時 |
| 十二日(水)  | お花見会     |    |
| 五月      |          |    |
| 四日(木)   | みたまま祭    | 正午 |
| 五日(金)   | 年祭       | 正午 |
| 七日(日)   | 総代会      | 四時 |
| 二十一日(日) | 春季例大祭    | 正午 |
| 六月      |          |    |
| 四日(日)   | みたまま祭    | 正午 |
| 五日(月)   | 祖霊廟・祖霊社祭 | 二時 |
| 八日(木)   | 年祭       | 正午 |
| 十一日(日)  | 総代会      | 四時 |
| 二十五日(日) | 大祓祭      | 二時 |

御伺いの予約について

☆3の日 (3日・13日・23日)  
 9:30～11:30 (午前の部)  
 13:00～15:30 (午後の部)  
 ☆8の日 (8日・18日・28日)  
 9:30～11:30 (午前の部のみ)  
 午後1時より月並祭 (時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までにお電話下さい。  
 お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。  
 044-976-0708

五月二十一日(日) 春季例大祭

毎年、春と秋の年二回、本殿に於て行われる最も大きな御祭です。また、日頃の感謝の気持ちを形に表わす絶好の機会でもあります。

大祭当日は、正面の御扉が開き、大神様からの波長(恩頼)を直接頂けますので、万障お繰り合わせの上おまいり下さいませ。尚、大祭当日より袴掛の着用となりますのでご注意ください。(祝詞本をお持ち下さい。)

当日は、向ヶ丘遊園駅南口よりお迎えるマイクロバス、ワゴンが出ておりますので、ご利用下さいませ。

五月七日(日)・六月十一日(日) 年祭(感謝祭)

その月に祀られた方々が、それまでの一年間、大神様に御加護して頂いた事に対して感謝申し上げる御祭です。

月並祭と同様、この年祭も自分の御利益ではなく、純粹に感謝の気持ちを大神様に御奉告申し上げる機会でもあります。出欠は往復ハガキにて確認させて頂きまますので、必ず御返送下さい。

五月二十一日(日) 閉扉祭

午後三時より、春季例大祭でお開けした御扉を、大祭当日の御加護に感謝して、大神様に御礼の祝詞を奏上し、お閉めする御祭でございます。

正確には、この閉扉祭までが大祭でございますので出来るだけ参列下さい。

広告募集中

心友会だよりでは、皆様からの広告を募集しております。

年間、三万円から十万円です。詳しくは左記まで  
 ○四四(九七六)〇七〇八 佐藤

五月(五)～六月(四) みたまま祭(祖霊社)

お申し込みの際必ず、御供養ご希望のみたまま様の生前のお名前、亡くなられた年月日、享年、続柄をお知らせ下さい。

尚、原則と致しまして、各月(その月)に命日を迎えられる方々の御供養をさせて頂きまますので御了承下さいませ。(他の月のみたまま祭は、ご相談下さい。)

御遷座祭について

おちついたら、大神様の引越しの報告祭である『御遷座祭』をしなければなりません。その際、用意する物は、御初穂、御神体(大国様)、御神饌(鯛一匹、野菜七種

類、赤飯)です。(御神饌は、末広会でも用意出来ます。御希望の方はお申し込み下さい。)

あらかじめ日程をおとり致しますので、社務所までお電話下さいませ。

みたまま祭だより

- 三月
- 荒井家 小野家 中西家
- 渡邊家 天木家 安井家
- 大久保家 林家 熊野家
- 加藤家 小島家 上野家
- 上島家

以上の家々の御供養を御奉仕申し上げます。

お願い

いつも心友会だよりを愛読頂きまして、誠に有難うございます。この心友会だよりは、皆様方の会報として発行させて頂いておりませんが、移転などによって戻ってきてしまうものもありますので、移転などによって住所が変わる方、住居表示が変わった方は、お早めに社務所までご連絡下さいませ。

編集後記

☆いよいよ春本番となりました。  
 ☆桜の花も咲き、生命の息吹を感じる季節です。  
 ☆入学シーズンを迎え、子供達も元気に勉強、運動などを頑張っています。  
 ☆何かと気分も高まる時期ですが、大神様の御教えを肝に銘じて行動したいと思っております。